



なかむら実 中村みのる県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

左折レーン設置へ

船橋市の国道296号中野木交差点

中村実県議（船橋市選出、3期）は2月定例県議会予算委員会にて質問に立ち、道路整備や飲酒運転根絶対策、河川事業などについて県担当者に聞きました。安心・安全なまちづくりに力を注ぐ中村県議は渋滞が慢性化している船橋市の中野木交差点について、児童生徒の通学も心配として、速やかな対策を求めました。また、溢水が心配される海老川の整備状況を質問し、着実に事業が進むよう要望しました。中村県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

2月県議会予算委員会



道路整備などの課題について 県執行部に質問する中村実県議



渋滞が激しい船橋市の中野木交差点

慢性渋滞解消へ対策

中村委員 県北西部は、人口増加等による交通増加等による交通集中で慢性的な交通渋滞が発生している。特に船橋市においては、京葉道路花輪インターチェンジの周辺において、交通が集中し、国道296号船橋市前原西地先の中野木交差点から成田街道入り口交差点までの間においては、たいへん激しい渋滞が発生している。

また、近隣には前原小学校などもあり、歩道も一部未整備であることから、児童生徒の通学に心配があるとの声も多く寄せられている。

中村みのるプロフィール

経歴

- 昭和42年9月生まれ 西海神小、葛飾中、県立八千代高、中央大学法学部法律学科卒業
- 平成3年4月 住友重機械工業入社
- 平成11年4月 船橋市議会議員 初当選(4期連続当選)
- 平成27年4月 県議会議員初当選 (3期連続当選)

現職

- 県議会 予算委員会委員 文教常任委員会委員

Web : minoruclub.com



毎日更新中!!

海老川整備、着実に

中村委員 船橋市を流れる海老川では、過去の浸水被害を受けて河道拡幅などが行われたため、近年、以前のような浸水被害は発生していないが、いつ大雨に見舞われるのかと、市民の方々は大変、不安に思っている。

川調節池については、今年度から掘削工事に着手したところです。

中村委員 今後、対策の実施に向け、どのように取り組んでいくのか。 県土整備部長 県では、

具体的な対策として、歩道整備や車線の増設を検討しており、早期の事業化に向けて、先月9日に、国に補助事業化の要望を行ったところです。

県土整備部長 国道296号船橋市前原西地先については、中野木交差点などの交通容量の不足により、慢性的な渋滞が発生しており、交通の安全と円滑化のため、早期対策が必要であると認識しております。

中村委員 国道296号船橋市前原西地先の渋滞解消は地元の方々の切望でもある。引き続き、早期の対策着手に向け、取り組んでいただくよう要望する。

●県政と船橋市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

中村みのる 県議事務所

〒273-0031 船橋市西船4-29-17 ルーラル5番館1F

TEL.047(433)4047

FAX.047(433)4024

外国人の事件、事故急増

多言語コールセンター活躍

中村委員 近年の在留外国人及び外国人観光客の増加により、外国人が犯罪に巻き込まれる事件・事故が急増している状況にあり、通訳・翻訳機能の強化を含む重点的な取組に位置付けられている。

そんな中、県警では訪日外国人、在留外国人の増加への対応として、令和7年度から多言語コールセンター事業を導入するなどの取組を推進し、令和8年度も事業の拡大を予定していると聞いている。

そこだろうか、令和7年における来日外国人の検挙状況はどうか。

警察本部長 令和7年中

における来日外国人の検挙件数は2395件で、前年比で972件増加しており、検挙人員は833人で、前年比3人減少しております。

特徴については検挙人員の状況を見ると、出入国管理及び難民認定法違反が291人、34・9パーセントで最も多く、次いで窃盗犯が191人、22・9パーセントでありました。

国籍別では、タイが171人、20・5パーセントで最も多く、次いでベトナムが163人、19・6パーセン

ト、中国が137人、16・4パーセントとなっております。

中村委員 令和7年における多言語コールセンターの利用状況はどうか。

警察本部長 県警では、令和7年4月から日本語を解さない外国人等からの10番通報を受理した際、多言語コールセンターの三者間通話を利用しており、令和7年12月までの9か月間における利用実績は243件となります。

中村委員 多言語コールセンターにおいて対応可能な言語は何か。

警察本部長 令和7年度については、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語の5言語が、24時間365日対応可能となります。



県担当者の答弁を聞く中村委員

中村委員 今後、多言語コールセンターの活用範囲を拡げる予定はありますか。

コンビニに「飲酒運転NO!!」

中村委員 令和7年中の飲酒運転の検挙状況はどうか。

警察本部長 令和7年中は、自動車等の飲酒運転896件、自転車の飲酒運転324件を検挙しております。

中村委員 県内コンビニエンスストアにおける啓発事業とはどのようなものか。

環境生活部長 この事業は、飲酒運転の根絶に向け、「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない」という意識の定着を図るため、県民の皆様に飲酒運転の危険性を改めて周知啓発するものです。

具体的には、忘年会などで飲酒の機会が増える年末に、冬の交通安全運動と併せ、幅広い世代が利用するコンビニエンスストアにおいて、レジ横に設置された液晶画面やデジタルサイネージで、啓発動画や画像による情報発信を行うことを想定しています。

賃貸ラボへ研究所誘致 内装工事費など経費補助

中村委員 企業誘致については私も強い関心があり、昨年12月の我が会派の代表質問でも取り上げました。

の立地企業補助制度の大幅な拡充に引き続き、令和5年度に創設された賃借型の補助制度の見直しが行われている。

賃借型の補助は、広域自治体としては踏み込んだ支援制度と聞いているが、賃借による研究所、いわゆる「賃貸ラボ」の設置に係る初期投資

資を支援する今回の改正については、更に一歩進んだ先進的な取組だと思ふ。

そこだろうか、賃貸ラボ設置に向けた、新たな支援制度の狙いはどのようなものか。

知事 本県は、東京と隣接する絶好の立地にありながら、海や緑の豊かな自然に囲まれ、研究開発に集中しやすい良好な環境等に加え、

企業からは割安な賃料や職住近接の実現しやすさなども高く評価をされており、ラボ集積の素地があると認識をしています。

賃貸ラボは、内装設備がない状態で貸し出されることが多く、入居企業にとっては初期の設備投資が大きな負担となることから、これまでの賃料への補助に加え、内装工事や設備導入に係る経

費を補助することで、積極的に研究所等の誘致を図り、将来を見据えた産業の集積を進めてまいります。

中村委員 地域間競争が激しい企業誘致において、本制度をフル活用することで、本県の競争力を高め、本県経済を担う企業や施設の誘致を推進していただくよう要望する。

窓口集約で来庁者便利に 葛南地域合同庁舎、13年度開設

さらに、執務環境を改善することで、業務の効率化が一層進み、県民サービスの質の向上につながるものと考えています。

中村委員 新しい合同庁舎の整備概要として、規模や供用開始時期の見通しは

どうか。

総務部長 新たな合同庁舎につきましては、地上7階建てで、延床面積は約8500平方メートルを想定しており、令和13年度の供用開始を目指してまいります。

中村委員 海沿いの地域での新庁舎整備に当たり、災害時にも庁舎機能を確保するため、どのような対策や工夫を講じるのか。

総務部長 庁舎整備に当たっては、高潮や液状化等の災害に備え、浸水対策として、1階フロアを通常よりも高くするほか、機械設備を上層階に設置いたします。また、基礎杭等により建物の安定性を確保するなど、災害時にも防災施設としての役割を果たせる庁舎となるように整備を進めてまいります。

中村委員 地域における防災機能の強化や県民・事業者の利便性向上の効果が十分発揮されるよう着実な事業推進を要望する。

定はあるのか。

警察本部長 令和8年度は、これまでの110番通報に加え、外国語での通報

が多い成田国際空港警察署における電話対応へ活用範囲を拡充する予定となります。